

図書館情報

**冬休みはどっぴり読書！
 すいせん図書リストをどうぞ**

冬休みに向けて、心温まるすいせん図書リストを学年別に用意しました。その中から、3・4年生向けの1冊をご紹介します。

「秋はわたしのいちばん好きな季節です」青い空に白い雲、そしておいしい果物がいっぱいの子供たちの季節です。でも、秋をとでもきれいにしたときがありました。それは、昭和十九年のできごとでした。



秋
 かこさとし/文・絵 講談社

かこさんが亡くなって三年、手描き紙芝居をもとに絵本として世に出したいという願いがようやくかなった1冊です。

「読書通帳」をご利用ください

読書通帳は自分が読んだ本の名前や感想などを書き込み、貯めていくものです。この通帳にたくさんの方の知識や感動を貯めて、自分の宝物にしてください。

▼対象 幼児～大人まで（大磯町立図書館の利用券を持っている人）

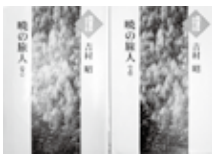
▼配布場所 図書館本館、分館窓口

▼利用方法 図書館や学校で借りた本、自分で買った本などを読み終わったら通帳に記入して、50冊貯まったら通帳を窓口を持ってきてください。認定のスタンプを押します。

**大きな文字で読みやすく！
 「大活字本」**

図書館では通常の本が読みにくい方にも、図書館に親しんでもらえるよう、様々な資料を収集しています。「大活字本」は、文字を大きくし、行間を広くとるなど、読者が読みやすいように工夫された本です。小説やエッセイだけでなく、多くのジャンルで刊行されています。

最近活字が読みづらくなって、読書から遠ざかっていた方は、「大活字本」を手にとってみてはいかがでしょう。



旅人の旅人(上)《下》
 (大活字本シリーズ)

吉村 昭/著
 埼玉福祉会

#いそちゃん
 おすすめの一冊



いそちゃん

新撰組に 屯所の改築をすすめ、会津藩で負傷者の治療を指南し、榎本武揚に

蝦夷行きを誘われる——。日本近代医学の開祖であるとともに、大磯の発展に深い関わりのある松本良順。その生涯をえがく歴史小説。

郷土資料館情報

企画展図録を刊行しました

開催を予定していた秋季企画展「資料と証言に見る大磯と戦争」の展示図録を刊行しました。一冊360円で販売しています。郷土資料館の窓口にてお買い求めください。なお、郷土資料館で刊行した刊行物は、郵送での販売も対応しています。ご希望の方は、郷土資料館へお問合せください。



▶図録表紙写真

戦争中の大磯と別荘、吉田茂

別荘地として知られた大磯。戦争は、その別荘にも大きな影響を与えました。

当時の別荘所有者は、大磯を疎開地として、家族や知人の家族も含めて別荘に疎開することがありました。しかし、住所を大磯に移していない

と、大磯で配給を受けることができず、食糧の確保が大変だったそうです。そのため、敷地内の芝生を畑に変え、野菜作りに励む人もいました。また、大磯が吉田茂の和平工作をめぐって、スパイ活動が繰り広げられた場所であったことはご存じでしょうか。

当時、大磯町内には吉田茂以外に、池田成彬や原田熊雄、樺山愛輔などが邸宅を構え、彼らは吉田と共に終戦に向けての話し合いを行っていました。この動きを察知した陸軍は、憲兵隊と陸軍省の二つのルートから、吉田邸にスパイを派遣し、監視を続けていました。

陸軍省のスパイとして大磯の吉田邸に派遣された人物の手記によると、陸軍は町内に家を借りてスパイ活動の拠点をつくり、大磯高校の近くにある明治天皇観漁記念碑の脇に暗号文を埋めて、吉田邸に潜入していたスパイとやり取りしていたそうです。昭和20年（1945年）4月15日、大磯の吉田邸に陸軍の憲兵隊が押し入り、吉田は逮捕されました。同時に、町内に滞在していた原田熊雄、樺山愛輔らの家にも憲兵隊の搜索が入りましたが、結果として逮捕されたのは吉田だけでした。

その吉田も不起訴となり、5月31日には釈放されましたが、この時の逮捕によって、吉田は戦後に内閣総理大臣に就任することができたため、先のことはわからないと言えます。